



夏の子どもたちの遊び場——常浪川

した。津川は、川の港としてよく知られていたので。

常浪川を少しさかのぼると、流れのゆるやかなところもあり、夏になると、子どもたちが集って、さかなをとったり、水泳ぎをしたりに遊ぶところになっていました。

泳ぎのじょうずな子どもは、岸から離れて立ち泳ぎのまま、川の流れにゆうゆうと身をまかせて、山国のみじかい夏をたのしんでい

ました。

また、四郎の住んでいた角島つのしまという部落は、新発田しんぱたにぬける会津街道あいづかいどうにそって、部落の上の方には、志田平しただらとよばれる高台たかだいになった開拓地かいたちもひらけて